

〈清水地区 幼・保・小・中連接でめざす子どもの姿〉
 ○ すすんであいさつが出来る
 ○ しっかりと話を聞くことができる
 ○ 自分のお話を自分ですべて出来る

〈めざす教師の姿〉
 ○ 子ども一人一人を「可能性を秘めた、心ある存在」としてとらえ、温かな眼差しで心着的にかわかっている教師
 ○ 常に自ら保育を振り返り、保育の質を高めようとする教師

《教育目標》

心豊かで いきいきと活動する清水っ子の育成
 ～ げんき ・ なかよし、 力いっぱい ～

元気な子

- 危険を感じたり、予想したりでき、安全
- 安心な生活を送ることができ、子ども
- 遊ぶこと、食を動かすこと
- が好きな子、進んであいさつができる子

なかよくする子

- 先生や友達の話をつかきあがり聞ける子
- 声をかけ合って助け合える子
- 相手への思いやりの心をもつ子
- 誰とでもかかわることができる子

力いっぱい活動する子

- 身近な環境に楽しんで活動する子
- 工夫しながら、夢中になって遊べる子
- 新しいことにチャレンジする子
- 失敗してもあきらめない子

《教育の方向性》

持続可能な社会の創り手となることができるようにするための基礎を培う

《教育の重点》

◎ 子ども一人一人が進んで『よい生活習慣・よい学びの習慣』を身につけるようにする

- 遊びや生活の中で、よい生活習慣・よい学びの習慣を進んで身につけるよう丁寧に指導・援助する。
- 【よい生活習慣】
 ・ あいさつ、返事、応答の習慣

『あいさつ へんじ 応答』

- ・ 場に応じたよい言葉づかいができる。
 「おはようございませう」～「おやすみなさい」
 「ありがとうございます」
 「ごめんなさい」「ごめんなさい」など
 「教えてください」など
- ・ 片付けの習慣、手伝いの習慣
- ・ おいしく食べる習慣
- ・ (例)「小学校で給食を食べよう」
- 【よい学びの習慣】
 ・ 話をきく習慣、聞く習慣、読みだす習慣
 ・ 絵本や図鑑等を見たり読んだりする習慣
 ・ 自分の気持ちを言葉で表現する習慣

◎ 多様な『人・もの・こと』とかわり、『他者理解』と『共感』する力を育む

- 『いい電』に乗って、世界を広げる。
 (例)「県立美術館・図書館に行こう」
- 地域の自然や文化に触れる。
 (例)「阿部農園でりんご狩りをしよう」
 (例)「茅葺き屋根の佐藤家に遊びに行こう」
- 地域の様々な人とかわる。
 (例)「清水分署に消防車を見に行こう」
- 外国の言葉や文化に触れる。
 (例)「ALTと遊ぼう」
- 小学校との日常的なかわりを深める。
 (例)「小学校探検に行こう」
- 地域へ子どもたち自ら働きかけ。
 (例)「招待状を書こう」
 (例)「お礼の気持ちを表そう」
- 体験したことを言葉にしたり、絵にかいたりして表現する。

『体験を経験に』

◎ 『地域に開かれた幼稚園』づくりを進め、『保育の質の向上』を図る

- 保育を振り返り、保育の改善を進める。
 ・ 全職員参加の研修会・打合せ会
 (水曜日の午後13:15～14:00)
- (改善の視点)
 『子ども可能性を信じるあなたか
 なまなさと丁寧な応答』
- 保護者や地域の方々のボランティアを積極的に活用する。
 (例)「清水こぐまの会(子育てサークル)」の活動を支援し、充実させる。
 - 未就園児の定期的な預かり保育を継続し、小学校へのスムーズな接続を図るための保育の改善と充実を進める。
 - ・ 言葉の環境、授業参観の充実
 - ・ 小学校の活動を支援し、充実
 - 保護者の活動や講座の充実
 - ・ P T A 教養講座の充実